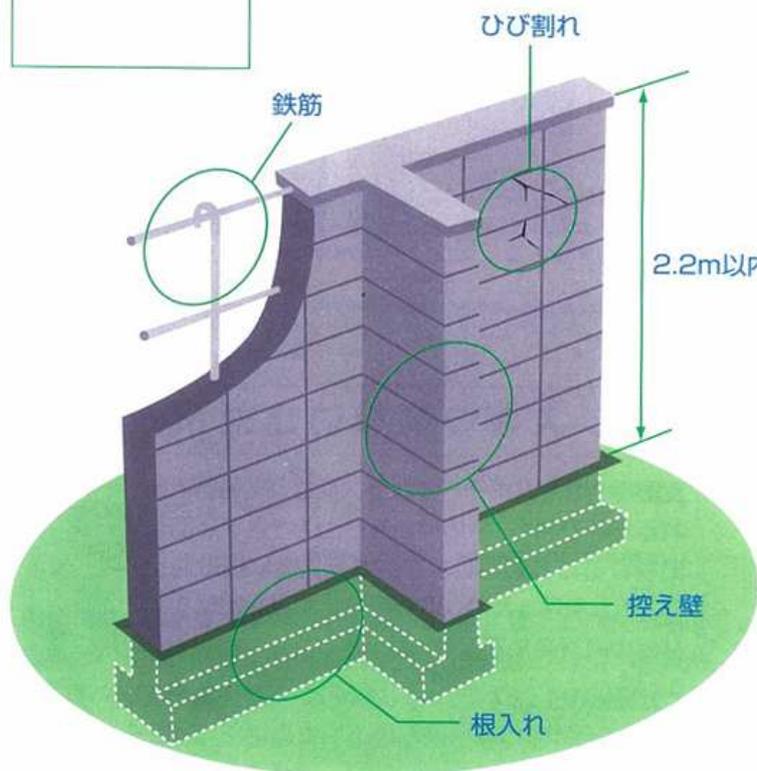


あなたのブロック塀は、安全性に疑問があります。

既存ブロック塀の安全対策

阪神・淡路大地震では、約1,500件のブロック塀が倒壊。数十の方が倒壊したブロック塀の被害に遭い、倒れた塀が道路をふさいで、避難や救助・消防活動を妨げました。大地震に備え安全対策をしましょう。

ブロック塀



古いブロック塀は以下の5項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

*下記の1,3については、塀の高さが1.2mを超える場合のみ適用

1. 基礎の根入れはあるか

コンクリートの基礎は、根入れ深さが30cm以上あるか

2. 塀は高すぎないか

塀の高さは地盤から2.2m以下か
塀の高さが2mを超える場合、厚さが15cm以上必要

3. 控え壁はあるか

塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか

4. 塀に鉄筋は入っているか

塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部及び基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれにかぎ掛けされているか

5. 塀は健全であるか

傾き、ひび割れ又はぐらつきはないか

既存ブロック塀の安全対策をお考えの方で、ご相談がある場合は、下記の最寄りの窓口にお問い合わせ下さい。

香川県土木部建築指導課	TEL 087-832-3611
香川県長尾土木事務所	TEL 0879-52-2588
香川県小豆総合事務所	TEL 0879-62-1334
香川県中讃土木事務所	TEL 0877-46-3183
香川県西讃土木事務所	TEL 0875-25-5261
高松市都市整備局建築指導課	TEL 087-839-2488 (高松市管内)

この資料は、国土交通省住宅局監修(財)日本建築防災協会編集(木造住宅の耐震診断と耐震改修のすすめ「地震から我が家を守ろう」)2006.4より抜粋。